令和５年 11 月 24 日
【 農 林 水 産 省 】

【概要書】

国立研究開発法人
農業・食品産業技術総合研究機構
令和四年度特定公募型研究開発業務
（ムーンショット型研究開発）に関する
報告書及び同報告書に付する
農林水産大臣の意見

標記の報告書を衆議院議長に提出いたしました。

連絡先は省略。

令和四年度特定公募型研究開発業務（ムーンショット型研究開発）に関する国会報告の概要

Ⅰ　令和四年度特定公募型研究開発業務（国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構からの報告内容）

１．基金の概要

・　国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構は、第４期中長期目標に基づき、科学技術・イノベーション創出の活性化に関する法律（平成20年法律第63号）第27条の２第１項に規定する特定公募型研究開発業務（ムーンショット型研究開発）（以下「業務」という。）として、総合科学技術・イノベーション会議が決定するムーンショット目標の下、我が国発の破壊的イノベーションの創出を目指し、従来技術の延長にない、より大胆な発想に基づく挑戦的な研究開発を推進するため、令和元年度補正予算50億円の交付を受け、令和２年３月30日、生物系特定産業技術研究支援センター（以下「生研支援センター」という。）に基金を造成。

・　その後、令和２年度当初予算１億円、令和３年度当初予算１億円、令和３年度補正予算 30 億円及び令和４年度当初予算１億６千万円の交付を受け、当該基金を積み増し。

２．基金の管理体制等

・　生研支援センターは、業務を適切に執行するため、基金の管理体制を整備の上、「農業機械化促進業務勘定、基礎的研究業務勘定、特定公募型研究開発業務勘定及び民間研究特例業務勘定における資金運用に関する規程」及び「革新的研究開発推進基金の管理に関する要領」に基づき、基金の運用を行った。

３．業務に係る収入・支出及びその内訳（今後の見込みを含む）　（単位：百万円）

		令和４年度	令和５年度(見込み)
前年度末基金残高（a）		5,964	4,113
収入	国からの資金交付額	160	160
	運用収入	0	0
	その他	8	－
	合計（b）	168	160
支出	事業費	1,965	2,738
	管理費	55	66
	合計（c）	2,020	2,803
国庫返納額（d）		-	－
当年度末基金残高（a+b−c−d）		4,113	1,470
（うち国費相当額）		(4,113)	(1,470)

４．基金事業の実施決定件数・実施決定額

	令和４年度
実施決定件数（単位：件）	8
実施決定額　（単位：百万円）	1,863

５．保有割合

・　基金の年度末残高については、全て次年度の業務のために活用されることとなるため、令和４年度末時点での保有割合は「１」となる。

６．研究開発事業の目標に対する達成度

・　ムーンショット目標５「2050 年までに、未利用の生物機能等のフル活用により、地球規模でムリ・ムダのない持続的な食料供給産業を創出」の達成に向け、外部評価結果を踏まえたポートフォリオ（プロジェクト構成や資金配分方針計画）の見直し、有望なプロジェクトへの予算の追加配分等、効果的な事業運営を行った。

Ⅱ　農林水産大臣の意見の概要

令和４年度特定公募型研究開発業務（ムーンショット型研究開発）については、透明性・公正性に十分留意したものであり、適正であったと認められる。